

大生院校区まちづくりタウンミーティング 開催結果報告書

開催日時 令和4年7月14日（木）19:00～20:20
場所 大生院公民館
司会・進行 大生院校区連合自治会長
参加者数 男 36人 女 6人 合計 42人



1. 市の重点事業に関する質問

【質疑応答】

特になし

2. 校区課題

課題名①（渦井川護岸について）

【質疑応答】

（質問者）

課題となっている（整備されていない）渦井川の護岸の近くに住むものだが、県は草刈りをするわけでもなく、護岸の様子も見に来ないし、地元にも何の説明もない。それでい

ながら「50年に一度の雨を想定して浸水が起きないから大丈夫だ。」といわれても、この回答では私は納得できない。

(建設部長)

県も現場の確認はしていると思うが、整備するとなると、下流の西条市側の方が浸水被害の想定が大きいので、優先順位はそちらの方が高くなると思う。再度県にも現場を確認するよう伝え協議を行うなど、連携を図っていきたい。

※ 再検討事項・・・なし

課題②（渦井川の河床掘削について）

【質疑応答】

(質問者)

国土強靱化も言われている中、渦井川の河床掘削に入っただけには大変感謝している。

この件は令和2年からお願いしていたが、たどり着くまでのプロセスとして、我々が地方局にいてもせいぜい窓口対応止まりであったため、やむを得ず県会議員、市会議員の力も借りてようやくたどり着いた。まだ様々な問題が残っているため、県と河川水路課とのパイプを大きくしていただき、我々が市に相談すれば県と円滑に繋がるような対応をお願いしたい。

(建設部長)

河川水路課にご相談いただければ県に問い合わせもし、確認もさせていただく。そのことを心がけて対応させていただく。

※ 再検討事項・・・なし

3. その他

(質問者)

ファミリーハイツについて一言御礼を申し上げます。市長をはじめ関係部局のおかげをもち、懸案だったインフラの移管について、4月に生活道路と上水道の正式移管が達成された。

しかしながら、まだ生活排水の保守や更新の費用などの大きな負担を背負っている。今後も市の協力をいただき、関係機関との協議を継続していただくようお願いする。

(質問者)

空き家対策についてだが、木が張り出している家などがあり、連絡先が分からないので市において相手に連絡を取ってもらって、こちらから事情を市に伝えて相手に連絡し

てもらふなど、個人情報関係で電話番号を教えられないのは分かるが時間がかかる。こちらの電話番号を教えてもらって、相手と直接やり取りして自治会で対応するなどの方法はとれないか。

(建設部長)

相手が了承すれば可能である。

(質問者)

上部東西線の街路樹についてだが、6月と10月に剪定をしているとのことだが、刈った時はいいが、カメ笹などはすぐ伸びる。カーブの所に横断歩道があるが、小学生が待っていても見えなくて車も止まらない。街路樹を除けるか花に植え替えるなどはできないか。

(建設部長)

確かに見えづらい状態であることは確認させていただいた。全ての街路樹を除けてしまうということではできないため、カーブや横断歩道の近辺は間隔をあけるなどの対応を検討させていただきたい。

(質問者)

上部東西線は街路樹を植えるのか。国道11号バイパスは植えていないが。

(建設部長)

構造令上、植樹帯を設けるようになっているが、樹種や間隔等は地元の方と話をして決めていかなければならないと考えている。

(質問者)

市民一斉清掃もあるが、高齢化により集まりが悪くなっている。まさき育成園の河川も少し土砂が溜まっており、草も伸びてきている。その件について相談させていただきたいと考えているのでよろしく願います。

(建設部長)

河川水路課へ相談に来ていただきたい。

(質問者)

予算、人員の限られた中、道路課には早い対応をしていただき、感謝する。渦井川については我々だけでは対応できない課題であり、市当局の力添えをお願いしたい。

石川市長総括

- ・渦井川の護岸については県の管理下となるため、県に対して要望を行っていく。
- ・ファミリーハイツにつきましては、長年の懸案事項であった上水道と生活道路の移管が終わり、残りは排水関係については、西条市の対応を踏まえながら協議をさせていた

く。

・空き家対策だが、先日、建物について強制撤去もおこなったが、そこに至るまでは手続きにかなりの時間がかかることをご理解いただきたい。ただ、枝が出ているなどについては、市から相手方に連絡を取るなど対応をしていく。

・街路樹については早急に対応を検討する。